

令和 7 年度

事業所名： ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0390100774		
法人名	株式会社ツクイ		
事業所名	ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)		
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮6丁目6-10		
自己評価作成日	令和7年12月16日	評価結果市町村受理日	令和8年3月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/03/index.php?action kouhyou>

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎月1回以上は行事を企画しており、ドライブやボランティアさんによる歌・踊りの披露などを実施してきた。今年は5月に岩手県立大学のさんさ踊り実行委員会様に声を掛けて企画を行い、デイサービスやそよ風、ご利用者のご家族などにも声がけし盛大にイベントを行った。10月はボランティア様を招いて民謡・三味線の公演を企画し、ご家族にもご参加いただいた。月光ユニットは外に行きたいという希望のある方が多く、介護量の増加による課題は多いものの、行事として企画することでなんとか実現することができている。秋頃からは日課の散歩も徐々に再開し、ご利用者の希望を叶える為試行錯誤している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、大型ショッピングモールや郊外型商業施設が集積するエリアに位置し、周辺には病院をはじめとする医療機関、福祉・介護事業所が多く立地し、公園や美術館、記念館にも近接しており、買い物や散歩などの外出に適した良好な住環境にある。事業所では、居室の見守りセンサーや介護記録のタブレット入力など、ハード面・ソフト面の双方でICT活用を積極的に進めており、これにより、職員の業務効率化と利用者の安全確保に寄与している。理念として掲げる「私らしい今を、ともに輝く明日へ」のもと、利用者が自分らしく生活できるよう、できることを共に考えながら支援を行っている。家族との連携にはSNSを活用し、周辺の福祉施設と協働したイベント企画などを通じて、日常的な外出や行事参加の機会を増やす取り組みも行っている。これらにより、利用者が意欲的に日々を過ごせる環境づくりに努めている。近年は利用者の重度化や看取りへの対応が増えていることから、職員体制の再構築や医療機関との連携強化を進めており、本人および家族の意向を尊重しながら、安心して生活できる体制を整えるため、職員が一丸となって取り組んでいる。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 いわての保健福祉支援研究会
所在地	〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通2丁目4番16号
訪問調査日	令和8年1月20日

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる(参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている(参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある(参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている(参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている(参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている(参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている(参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている(参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

[評価機関:特定非営利活動法人 いわての保健福祉支援研究会]

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設内に理念の掲示を行っている。新しい職員も入社されているので、理念の共有・周知は今後も課題である。	理念は事業所内に掲示するとともに、ユニット会議等で繰り返し確認し、職員間で共有している。新任職員については、本社研修後に現場のベテラン職員をチューターとして配置し、日々の支援を通して理念の理解と実践を促している。また、理念に掲げる「私らしい今を、ともに輝く明日へ」を具体的な支援に落とし込むため、昨年2月より毎月テーマを設定し、カンファレンスで利用者ができることを考えるなど、全職員が共通認識をもって支援に取り組む仕組みを整えている。この取り組みにより、理念を日常の支援に結びつける意識が職員全体に浸透しつつある。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	・運営推進会議の実施 ・ご家族様に面会に来ていただく頻度が増え、中にはほぼ毎日昼食の介助をしてくださる方もいる。 ・5月 岩手県立大学の学生を招いてさんさ踊りを披露していただく。 ・8月 近くにある歴史文化館に行き、施設の方と交流する。 ・10月 民謡ボランティアの方を招き、イベントを実施。民生委員さんを通じてイベントへの参加を促している	事業所は町内会に加入し、町内一斉清掃や地域行事への参加、事業所主催行事への近隣住民の招待などを通じて、地域とのつながりの強化に努めている。また、同地区内の福祉・介護事業所との交流、地域交流スペースの常時開放、災害時における施設機能の提供、「オレンジガーデンプロジェクト」への参加など、多様な形で地域との協働を進めている。前回の外部評価を踏まえて設定した目標達成計画のうち、「地域の方々を事業所に招く」取り組みは実施されており、一定の成果が確認できる。一方で、「避難訓練に参加してもらう」取り組みについては、引き続き地域との調整を図りながら継続して取り組む姿勢が示されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	病院から退院を迫られているという方が相談にいられた方、特にサービスが初めてという方には内容をかみ砕いて説明するようにしている。見学会を実施して気軽に立ち寄り相談できるようにしている。又、盛岡市が実施しているオレンジガーデンに参加し近隣の薬局にプランターを届けた(今年度はノロウイルス発生により保育園への設置はできなかった)		

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について 報告や話し合いを行い、そこでの意見を サービス向上に活かしている。	今年は誤薬事故が立て続けに発生し、運営推進 会議内でも共有、数々のご指摘をいただいた。職 員が「注意をする」という対策だけでなく薬チェッ クの方法を見直すことにつながり、かなりミスが 軽減された。	運営推進会議は2ヵ月に1回の頻度で定期的に 開催されており、委員は利用者後見人、家族、民 生委員、市担当課職員、地域包括支援センター 職員で構成されている。会議では、利用者の状 況、各種委員会の実施概要、行事等の活動状 況、事故・ヒヤリハットの発生状況などが報告さ れ、それらに対する意見交換や改善に向けた助 言が行われている。また、会議内容は「確認書」 として委員および家族全員に郵送し、意見を添え て返信してもらう仕組みを設けている。返信内容 は次回会議で共有され、運営への反映を図るな ど、会議を継続的な改善につなげる工夫が見ら れる。なお、前回の外部評価において、町内会か ら会議に参加してもらうことを期待され、民生委 員が町内会の代表も兼ねることとなっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取り組み を積極的に伝えながら、協力関係を築くよ うに取り組んでいる。	今年は感染性胃腸炎やコロナの発生などに伴 い、市町村担当者との情報共有などを行う場面 が多々あった。運営推進会議には介護保険課事 業所指定係の方にも参加してもらっている	市町村との連携については、担当課職員と日常 的に連絡・相談ができる関係が構築されており、 運営推進会議への参加や介護認定更新時の調 整など、必要な場面で適切な協働が行われてい る。また、地域包括支援センターとも継続的かつ 密接に連携しており、利用者支援に関する相談・ 助言、地域の支援資源に関する情報提供を受け るなど、実務的な連携が機能している。さらに、 「オレンジガーデンプロジェクト」等の取り組みを 通じ、地域包括支援センターと協働して認知症理 解の普及啓発にも取り組んでいる。	

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修や委員会を定期的を実施。今年は身体拘束の対象となる方はおらず、何かトラブルがあってもケアの工夫で対処するように心がけた。	多動や徘徊がみられ、目が離せない場面が増えている利用者への対応について、事業所では身体拘束を行わないケアの徹底に向けた取り組みを継続している。身体拘束廃止推進委員会を2か月に1回開催し、利用者の状況に応じた環境調整や見守り方法について職員間で検討している。また、年2回、会社主催のオンライン研修に参加し、身体拘束をしないケアの理念や具体的な支援方法について理解を深めている。日々の支援の中では、スピーチロック等の「気づき」を職員同士で共有し、声かけや関わり方の見直しにつなげている。事業所内には5か所にカメラが設置されており、本社とも連携して映像を確認できる体制が整っている。必要に応じて本社へ相談し、助言を受けながら安全確保と権利擁護の両立を図っている。前回の外部評価で言及された「玄関の解錠方法の検討」については、利用者が外出を希望する様子がみられた際に職員が解錠し、本人の意思を尊重した対応が行われている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止に関する研修を実施。また毎月「今月のテーマ」を掲示している。「パーソンセンタードケアに即した対応をする」など。また特定のご利用者の行動(他の方の居室や浴室を開ける、車いすの方を介助しようとする)により職員全体に気持ちの余裕のなさが見受けられるようになった為、管理者主催による虐待防止の研修やミーティングでの共有などを行った。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	後見人の方への定期的な連絡や書面での状況報告を行っている。また、時々面会にも来ていただいている。今年から新たに成年後見制度を利用する方が増え、ご家族や後見人の方との連絡調整を行った。		

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	安心して居住していただけるよう事前にご家族の不安の解消に努めたり、申し込みの段階から見学に来ていただき施設の雰囲気を知っていただくように努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議で集約した意見をユニットリーダーへ伝達をしてユニット内で理解を深めていたり、タブレット端末での記録を通して共有し理解を深めている。	事業所では、利用者や家族の意見を運営に反映するための仕組みづくりに取り組んでいる。運営推進委員会の会議記録を「確認書」として家族全員に郵送し、意見や要望を記入して返信してもらう方法を採用しており、寄せられた内容は次回の委員会で報告・共有されている。また、LINEやショートメールでつながっている家族とは日常的に連絡を取り合うことで、情報共有や要望の確認が迅速に行える体制が整っている。家族から寄せられた意見や気づきはユニット会議等で共有し、必要な対応について職員間で協議している。利用者からの「帰宅したい」といった実現が難しい要望については、家族と代替案を検討し、本人の思いにできる限り寄り添う形で支援方法を調整している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンス内で意見の集約を行い、ユニットリーダーより管理者へ報告を行っている。カンファレンスの短い時間だけで話をまとめることが難しそうな課題があれば事前に職員の意見を募ることも行った。また、定期的な面談も実施している。	事業所では、職員の意見を運営に反映するための仕組みを複数設けている。ユニット内では日常的に意見や提案を募り、さらに3か月に1回、管理者との個別面談を実施し、職員の考えや課題を直接聞き取る機会を確保している。職員からは、会議の開催頻度や行事内容に関する意見が多く寄せられており、必要に応じて運営方法の見直しにつなげている。最近では、利用者の重度化に伴う職員体制について要望が出され、これを受けてシフトの組み換えを行うなど、現場の声を踏まえた改善が実施されている。管理者の判断を超える事項については、オンラインで速やかに本部へ報告・相談し、助言を得ながら対応を進めている。	

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	シフトをその都度見直し、配置が必要なところに工夫できる様にしている。またシフトに研修時間を盛り込み、無理なく研修を受講できるように配慮している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月の法定研修の受講の促し、認知症実践者研修の参加や介護福祉士・ケアマネジャー受験への支援、外部研修の参加などへの働きかけを実施。また、社内ケアコンテストに2名の職員が参加。7月の岩手県予選を通過、8月の東北大会では第二位となった。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	5月に当施設主催で岩手県立大学学生によるさんさ踊りの見学を行った。その際に近隣のデイサービスやそよ風にも声掛けし、グループ内で高め合えるような環境を作ることができた。7月に行われた社内ケアコンテスト岩手県予選では他の営業所のケアを見る機会があり、今後のケアの参考にすることができた。また、定期で行っているグループホーム部会では北海道・東北の施設職員との交流があり、取り組み内容の発表、課題の共有などを行い、サービスの向上に向けた勉強をすることができた。		

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	今年度は輝ユニットで5名の新規利用者を迎えた。特に8～10月でご逝去や退居などが続き、一気に人が入れ替わるような状況となった。利用し始めということもあり、帰宅願望や周囲を物色する行動などが多くの方で見られ、模索しながら対応を行った。		
----	--	---	--	--	--

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居に関する不安や要望などを聞き取り、必要に応じてアドバイスをを行い、ご家族の気持ちに寄り添えるよう努めている。また、電話などでお問い合わせをいただいた際は施設見学をお勧めし管理者や計画作成担当を中心に対応を行った。10月には内覧会を2日間開催し、一組一組時間をかけて入居説明や見学などを行った。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	申し込み時に見学に来ていただき施設での暮らしをイメージしていただいたり、困っていることやご本人の暮らしに関して丁寧に聞き取りを行っている。満床かつ急ぎである場合は同系列のショートステイをご提案し、その時に最善となるサービスの提供を提案している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員が身の回りのことをすべて行ってしまうのではなく、食器拭き、床掃除、洗濯物たたみなど、できる方にはお手伝いをしていただいている。中には「お手伝いすることありますか？」と聞きに来て下さる方もいる。「一緒に取り組む」ということを大切にしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月に1回ご利用者の様子を書面にて報告させていただく他、ご利用者の転倒・体調不良などがあつた際は電話にて報告を行っている。また、外出・通院・定期的な面会など、ご家族にもご協力いただいている。イベントの際はご家族にもお声がけし一緒に参加していただいた。		

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族やご友人の方が面会を希望される場合は快くお受けし、見知った方との関係は途切れないように支援している。以前よりも面会に来て下さるご家族が増えたように感じている。	事業所では、利用者が馴染みの人や場との関係を継続できるよう、柔軟な支援を行っている。知人や家族が訪問した際には、いつでも面会できる体制を整え、利用者が安心して関係性を維持できるよう配慮している。訪問が少ない家族に対しては、利用者の希望を伝えることで訪問の機会を促し、家族とのつながりが途切れないよう働きかけている。また、利用者が行きたい場所がある場合には、家族の協力を得ながら外出を実現しており、通院の帰りに親戚宅へ立ち寄るなど、本人の思いに沿った支援が行われている。さらに、手紙や電話でのやり取りを職員がサポートすることで、家族や知人との継続的な交流が保たれるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	お客様同士の関係性を考慮した座席配置をさせていただいている。居室にこもりがちな方にはホールへのお誘いを都度行うようにしている。また、ユニット合同でのイベントを何度か実施し、ユニットを超えた関係作りも行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院期間が長くなり退居の必要性が出てきた場合は、当方としてできることをご提案させていただき、ご家族様とよく話し合いを行った。また、ご退居されてからの相談もお聞きするようにしている		

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	外に行きたいというご利用者が多く、天気や気温などを見ながら時々散歩に出かけている。雨などで外出が難しい場合は他ユニットへ遊びに行く等臨機応変に対応を行った。	職員は、日常の声掛けやふれあいを通して、利用者の思いや意向の把握に努めている。言葉での意思疎通が難しい利用者については、家族等からの情報に加え、表情・仕草・態度などの変化を丁寧に観察し、思いを汲み取る姿勢が見られる。ホーム内で一律の生活パターンを強いることはなく、利用者が趣味や娯楽を楽しめるよう柔軟に対応している。また、職員が気づいたことは随時タブレットに記録し、利用者の思いや意向に関する情報を職員間で共有する仕組みが整えられ、チームとして一貫した支援につながっている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前にアセスメントを行い生活歴を把握するとともに、お客様との会話を通してお客様自身のことを知っていけるように努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	SCOPや口頭での申し送りにてお客様の現時点での状態の把握、情報共有は行えている。全体的な介護度の上昇、利用者の入れ替わりに伴い、ミーティング内で都度ケアの方針を見直していくようにしている。			

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月に1回ユニットリーダーを中心にユニットミーティングを実施し、ご利用者の心身状態の把握、ケアの見直しなどに繋げている。ミーティング後は議事録を作成し、他スタッフや計画作成担当者と共有を行うようにしている。	毎月のユニット会議では、職員が利用者の状況を共有し、必要な支援の見直しについて意見交換を行っている。会議で出た意見に加え、事前に把握している家族の意見・要望、主治医や訪問看護師からの助言等を踏まえ、介護計画作成担当者が計画の見直し案を作成している。その後、ユニット会議で再度協議し、家族の確認を得た上で計画を決定している。決定した計画内容は全職員に回覧、共有されている。また、利用者の情報はタブレットで一元管理されており、バイタルや生活状況、過去との比較などを容易に確認できる仕組みが整っている。これらの情報は、介護計画の策定やモニタリングにも活用されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	SCOPや口頭での申し送り、申し送りノートを活用し情報共有を行っている。また往診前は往診用ファイルに報告する内容をまとめるようにしており、職員全員が気付いた時に書き込めるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ドライブや買い物、受診などに出かけたいとお話があればご家族に連絡を取って出かけたり、ご家族の対応が難しい場合は施設職員が代わりに行ったりと柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	民生委員さんや地域広報から情報を得て、地域での作品展示会・行事・ガーデニングプロジェクトなどへの参加を行った。また、地域のボランティア様の力を借りながらイベントを実施している。		

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している。	2か所の病院に提携いただき、お客様の病状に 合わせた医療の提供を行っている。現在小坂内 科14名、かつら内科4名。外部の病院から提携医 に切り替えを行う際や、外部の病院への入院が あった際は都度連携を行うようにしている。往診 前には事前に情報をまとめ、どのスタッフが対応 しても回答できるように工夫している。	入居時に利用者および家族の意向を確認し、多 くの利用者が事業所の協力医をかかりつけ医と している。協力医による訪問診療と、訪問看護師 による訪問看護を組み合わせることで、適切な医 療支援や必要な助言を得られる体制が整ってい る。入居前からのかかりつけ医の継続を希望す る利用者については、家族が通院介助を行って いるが、受診結果については事業所と家族の間 で情報共有が図られている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情 報や気づきを、職場内の看護職や訪問看 護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している。	週に1～2回定期で訪問いただいている。その他 褥瘡処置などによる特別対応も行っていたい た。訪問看護事業所とは対応のフローチャート (発熱時、転倒時の初期対応など)を取り決め し、必要時は相談を行っている。また看護師の方 から主治医に相談していただく等、相談ルート を明確にしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、又、できるだけ早期に退院できるよ うに、病院関係者との情報交換や相談に 努めている。あるいは、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行ってい る。	入院時は医療連携室とこまめなやり取りを行い、 状況確認や主治医・ご家族との情報共有に努め た。ご家族とは特に密にやり取りを行い、今後の 希望などをお伺いし不安の解消に努めるようにし た。		

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	今年度は輝ユニットにて2名の看取りを行った。施設での看取りを希望されるかどうか事前の確認の他、体調急変時には再度看取りの希望確認を行った。急変に伴い面会のお声がけも都度行った。中には泊まり込みで面会されるご家族もあり、ご家族への配慮にも努めた。	重度化および看取りに関する指針を整備し、入居時に本人・家族へ説明して意向を確認している。重度化が進んだ際に改めて意向確認を行い、本人が安心して納得のいく最期を迎えられるよう支援している。近年は看取りの件数や期間が増加しているが、医療機関との連携強化や職員シフトの調整などの工夫により、本人・家族からの要望には概ね対応できている。家族が泊まり込みで看取りに関わるケースもあり、その際には家族への配慮も行っている。これらの取り組みを通じて、事業所として看取り支援のノウハウが着実に蓄積されてきている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的な法定研修の実施。緊急時の対応の仕方についてはフローチャートを作成し、職員の目に入る位置に掲示している。事故発生後は速やかに事故改善ミーティングを行い、上長への報告と再発防止に向けた取り決めを行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回、災害時を想定した避難訓練・通報訓練を実施している。職員の人手が少ない夜間帯を想定した訓練を行い、非常時に備えている。	事業所は、ハザードマップ上で大きな災害リスクが想定されない地域に位置し、火災を主な想定とした避難訓練を年2回実施しており、夜間想定訓練についても昼間に実施している。また、業務継続計画(BCP)の策定、近隣の特別養護老人ホームとのバックアップ体制の構築、3日分の水・食料等の備蓄、太陽光発電による電力確保など、多面的な災害対策を進めている。前回の外部評価で言及された「地域の協力体制の構築」については、引き続き取り組む方針である。	夜間を想定した訓練については、薄暮時に実施することで、実際の暗さに近い状況下での課題を把握できると考えられます。また、前回の評価でも言及された「地域の協力体制の構築」については、引き続き取り組みを進めていくことが望まれます。

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の業務の疲労やストレスなどが言葉がけに現れていることが多々見られた。ミーティングにて啓発を行ったり、管理者による虐待防止のための研修、職員のモチベーションアップの為の活動などを通して、一人ひとりが自覚し改善していけるようにしたい。	利用者の人格を尊重した対応を心がけており、排泄や入浴などの場面ではプライバシーの確保に配慮している。一方で、職員数が少ない時間帯には、安全確保の観点から制止的な声かけが生じる場合もある。このため、ミーティングで対応方法を共有したり、管理者が個別に職員研修を行うなど、言葉づかいや態度によって利用者の尊厳を損なうことのないよう、職員全体で意識の統一と改善に取り組んでいる。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	何事も職員の主導で進めてしまうのではなく、ご利用者の希望を聞きながらケアを行うように努めている。例えば、以前はテレビ体操や歌番組ばかりかけていたが、旅番組やグルメやお祭りなど希望を聞きながらテレビをかけるようにしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者のADLの変化などを踏まえ、例えば食事に時間がかかる、早く寝たいなどの理由から食事提供を早める工夫や、入浴も必ず時間までに終わらせるではなく臨機応変に対応している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	基本的には来たいものをご本人に選んでいただけるように支援をしている。夏でも過度に着込んだり、汚れたものを着続けたりしている場合はお声がけをしている。日々の洗濯でヨレヨレになっている場合はご家族に連絡の上、購入させていただくこともある。			

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人ひとりの食の好みは事前に把握するようにし、苦手なメニューの日は臨機応変に変更している。 食事の準備は職員が行うが、後片付け(主に食器拭きやテーブル拭きなど)はご利用者をお願いしている。	本社から搬送される献立と食材をもとに職員が調理を行い、後片付けなどには利用者が参加する場面もある。事前に利用者の好みを把握し、苦手な食材についても食べやすいよう味付けを工夫しているほか、きざみ食・とろみ食・ソフト食など、利用者の状態や要望に応じた食事形態で提供している。また、季節の行事や誕生会にはお寿司やお花見弁当を用意するほか、ひつつみなどの郷土料理や干し柿、ゼリーなどのおやつ作りを利用者と一緒に行うなど、食事を楽しめる機会づくりに取り組んでいる。	おかずの多くを冷凍食品に依存しているため、季節感や利用者の嗜好への細やかな対応に不足する部分があります。簡単な手作りのおかずを取り入れることや、利用者の希望を反映した献立の工夫により、食事の楽しみをさらに充実させていくことが望まれます。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	飲み込みの状態などに配慮した食形態で提供している。また、手掴み食べが多い方には一口大のおにぎりを、食の細い方には少な目の盛り付けなど工夫している。水分は朝・昼・夕食時の他、定時で提供するようにし、水分量はSCOPにて記録を行っている。水分を残しがちな方にはこまめな水分補給を促している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを実施できている。介助が必要な方には職員が順番に対応、自立の方には義歯を外して洗うよう声掛けしたり、寝る前は義歯を預かる旨をお伝えし回収している。希望者には歯科往診にも対応している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	自主的にトイレに行くことが少ない方には声掛けし定時誘導を行っている。ご利用者の排泄のリズムを把握するようにし、それに合わせた誘導や下着の交換をしている。トイレ動作が自立だとしても失禁頻度の多い方には声掛けをして下着の交換を行っている。	自立してトイレで排泄できる利用者もいる一方で、失禁が多い利用者や自立排泄が難しい利用者には、声かけによる誘導を行っている。排泄に関する情報はタブレットで一元管理しており、誘導のタイミングや方法、便秘の有無などを職員間で共有し、適切な対応につなげている。また、誘導時の声かけや排泄がうまくいかなかった場面では、本人の心情に配慮した対応を心がけている。	

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便はSCOP上で記録し、「○日排便がない時は下剤服用」等、ご利用者ごとにルールを決めて対応している。反対に排便が続きすぎる場合は下剤を中止するようにしている。必要があれば看護師に相談の上、排便や浣腸の対応をしていただくことがある。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそうした支援をしている。	あらかじめ入浴予定は組んでいるが、「入りたくない」等の希望があれば入浴日をずらして対応している。週に2回は入浴できている方がほとんどだが、入浴拒否が続き週1回ペースになってしまっている方もいる。	週2回、午後の時間帯を基本として入浴を実施している。入浴予定表を作成して運用しているが、利用者の希望に応じて入浴日時を変更することも可能としている。お湯は利用者ごとに張り替え、季節に合わせてゆず湯や菖蒲湯を提供するなど、入浴を楽しめる工夫を行っている。また、入浴後には保湿や水分補給の時間を確保し、リラックスして過ごせるよう配慮している。入浴介助時には身体状況の確認を行うとともに、衣服の着脱時などにおけるプライバシーの確保にも努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	夜不眠傾向にある方は日中に出来る限り起こしておく等、生活リズムを作れるように支援をすることはある。ご本人の希望をできる限り叶えることは意識しつつ、起きて過ごしていただくからには暇にさせない工夫ができるようにしていきたい。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の変更があればSCOPや往診ファイルなどに記載するようにし、共有を行っている。拒否がある等で服薬できなかった場合は、支障がなければ中止やずらして飲んでいただく等で対応している。下剤に関しては主治医に相談の上でこちらで調整を行うことがある。頓服薬は用法・用量を職員全員で確認の上で服薬を行っている。		

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	食器拭きや床掃除などの家事手伝い、創作活動など、個々の能力や好きなことを活かして取り組んでいただいている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。 又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気や気温などが良ければ散歩に出かけている。今年の夏は30℃超えの日が続いた為、春・秋を中心に散歩を実施した。イベントでは近くの歴史文化館までドライブに行ったり、外部の体育館でさんさ踊りを見に外出している。その他、個人的な希望がある場合はご家族に協力をいただいてドライブに連れて行っていただくことがあった。	歩行が可能な利用者については、日常的に職員とともに事業所周辺を散歩している。外出をあまり好まない利用者には、ゴミ出しなどの役割を通して散歩を促すなど、個々の状況に応じた働きかけを行っている。また、季節に応じてお花見や紅葉狩りのドライブ、歴史文化記念館の見学などを企画し、外出の機会を提供している。さらに、個別の希望がある場合には、家族の協力を得て、利用者が望む場所への外出を実現することもある。目標達成計画に掲げた「ゴミ出しや家族の協力による外出」にも取り組めており、日常的な外出支援が継続して行われている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	紛失したり他のお客様とのトラブルになる可能性を家族様にご説明した上で、お金を所持していないと不安なご利用者には少額持参していただくこともあった。基本的にはお金を持参していないご利用者が大半である。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	「帰りたい」という気持ちから家族に電話をかけてほしいと願う方も多い。毎回の対応は難しい部分があるが、ご家族の協力の元対応していただくこともあった。		

令和 7 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : ツクイ盛岡本宮グループホーム(月光)

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎月季節飾りの制作に取り組んでおり、月光ユニットでは吊るし飾りと壁飾りに季節感を取り入れるようにしている。 共用部分はこまめに片付けるようにしているものの、新聞紙や荷物などが積まれている箇所もあるので、こまめに片付けるようにしたい。 冷房・暖房は希望に合わせて調整するようにしている。	居間・食堂室は、エアコンや加湿器により快適な温湿度が保たれ、照明も目に優しい色調に調整されており、明るく落ち着いた環境が整えられている。テレビ、食卓テーブル、ソファなどが配置され、壁面には季節を感じられる装飾が施されている。利用者が写真を眺めたりテレビを視聴したりと、思い思いにくつろいで過ごせる空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席配置に関して何度か検討を重ねている。基本的にはご利用者同士の相性や車いすの出入りのしやすさなどを考慮させていただいているが、特定の座席を設けずに各々が好きな席に座っていただく場合もある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	お客様が普段から使っているもの、使い慣れたものをご持参いただいている。愛着のある人形や家具、昔の写真、家族との思い出のものなどをご持参いただくことがあった。	居室にはリクライニングベッド、クローゼット、エアコン、床暖房が備え付けられており、照明も明るさや色調を調整できるようになっている。利用者は、使い慣れたテレビやタンスなどを自由に持ち込むことができ、仏壇を設置している利用者もいるなど、個々の生活スタイルに合わせた環境づくりが可能となっている。ベッドにはナースコールや離床センサー、バイタルチェック機能が搭載されており、利用者の状態を常時把握できる体制が整っている。さらに、看取り時の対応機能も備えており、緊急時には迅速に対応できる環境となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	車椅子の方、歩行器の方など様々な方がいるので、テーブルの配置を工夫し、できるだけ通路を広く確保できるようにしている。		